



# マジル2



令和6年1月9日(火)  
学年通信 No. 12  
文責 栗田 亜彩斗

～新年あけましておめでとうございます～

令和6年がスタートしました。新3年生になるまで、あと3か月を切りました。受験生となるまでのカウントダウンが始まりました。冬休みは自分が立てた学習計画や規則正しい生活リズムなどを意識して過ごすことができましたでしょうか。2学期終業式でも、2年3組の副島梗右さんが「2年生の3学期は、3年生の0学期とも言われます。」と話をしてくれました。何ごとも準備がないと、結果も求めるものには近づくことはできません。高くジャンプするには、一度膝を曲げ、勢いをつける必要があるように、何ごとにも予備動作が必要となります。入試も同様に、試験当日を迎えるまでに、どれだけの勉強(予備動作)を積み重ねることができたか。公立高校・私立高校は、5教科もしくは3教科の**点数**で合否が決まります。いつまでも「なんとかなる」という考え方では自分の成長もありません。厳しい言い方かもしれませんが、勉強をやらなければ“**合格**”という結果はつかみ取れません。入試まであと1年、まだ時間は残されています。できないことばかりを見るのではなく、できるようになったことやできるようになりたいことなど、思考もポジティブに変えていきましょう。どうしてもマイナス思考になってしまうこともあるかもしれませんが、自分の考え方を少しずつポジティブ思考に変えていくことが1年間、入試に向けての準備を戦い抜くために大切になります。考え方を換え、行動を変え、未来をつかみ取るために、3学期の1日1日を丁寧に過ごしていきましょう。まずは、課題の提出からです。

文責 井上 義丸

## 〈1月の予定〉

- 11日(木) 評議専門員会
- 12日(金) 英検(第3回)
- 18日(木) 生活アンケート
- 30日(火) HSR 学カテスト
- 31日(水) HSR 学カテスト



—冬休み12月25・26日、1月5日にリーダー研修が行われました—  
最初の研修での校長先生の講話では、「まずは自分自身が健康管理をして、毎日登校することなど、当たり前のことを当たり前に行えるようにならないといけない」と生徒会役員としての心構えを教えてくださいました。次に、生徒会役員として全体をまとめるにあたり、「**コミュニケーション能力**」「**洞察力**」「**行動力**」「**業務遂行能力**」の4つの力が大切であるとお話がありました。

研修2の古川先生の講話では、年間行事に沿って生徒会活動の内容を確認しながら、年間の見通しをもつ場がありました。生活面や学習面から学年の現状を把握し、来年度、どのような宇美東中学校にしたいかという話の後、をして、生徒会役員はスローガンを考えました。

研修2日目、3日目には、委員会活動の目的や各委員会の仕事の内容を確認する場がありました。各委員会の担当の先生から、「生徒会役員が普段の生活を大切にしながら、今自分たちが考えている『**当たり前**』のレベルを高めしていくことが大切になる」と教えていただきました。

3日間を通して、各委員会の委員長だけが頑張るのではなく、どの委員会活動も自分事として考えて、取り組むことが大切だということがわかったと思います。校長先生から教えていただいた4つの力を1年間で身につけてほしいと思います。



## ～3年生になる前に大切なこと～

3学期は2年生が学校のリーダーとして全校生徒を引っ張っていく準備をする期間です。全校生徒が「信頼してついていきたい」「先輩たちのようにになりたい」と思ってもらえるような3年生になってほしいものです。そのために生徒会役員を含め、2学年全体としてまず伸ばすことができる力は、「**コミュニケーション能力**」です。コミュニケーションと言っても、「相手に伝える」だけではありません。その他に、聞く・読む・書くなど互いに意思・感情・思考を伝達し合うこともまたコミュニケーションです。毎日の学校生活の中で意識するだけでもコミュニケーション能力はついてきます。2年生の残り3か月で自分をレベルアップさせ、最高学年になる準備を整えていきましょう。



## 【2学期終業式で話した内容】

「二学期を振り返って」 二年 副島 梗右

二年生が、この二学期を通じて特に成長したと思うことは「社会性」です。

二年生は、この二学期が始まってすぐに、総合的な学習の時間の一環として、「職業体験学習」がありました。この職業体験学習では、実際の現場で職業を体験することで、その職業の大変さや楽しさ、働くことのやりがいや大切さを学びました。職業体験学習では、学んだことだけでなく、体験場所までの道のりを友達と協力して考えたり、その場面に合わせた行動やあいさつをしたりするなど、普段、学校で言われている当たり前のことを行うなど、学校では実感できなかった様々な力や社会性を、これまでよりも高めることができたと感じています。

職業体験学習で学んだことや二年生として成長できたことを、修学旅行の班別自主研修や旅館での過ごし方などで、社会性を発揮することができたと思います。一日目の班別自主研修はタクシーでの研修でした。自分たちの班でタクシーの運転手にあいさつやお礼を伝えたり、宿泊する旅館の方にもあいさつやお礼を伝えたりすることが、班員だけでなく、二年生の一人一人ができていたように思います。このように当たり前にするべきことを、当たり前になっていかなかった二年生が、修学旅行を通じて、自然とできるようになっていく姿を見て、二年生にとって修学旅行という「経験の場」が大きく成長できたところだなと感じました。私が、特に印象に残っている修学旅行を通じて「二年生が成長したな」と思うことは、修学旅行二日目におこなった班別自主研修です。班別自主研修二日目は、公共交通機関を利用した研修でした。

班で行きたい場所を決め、公共交通機関の時間を調べたり、どのくらいお金が必要になるのか班で確認し合ったりするなど、協力しないと達成できないようなとても大きな課題がありました。ですが、職業体験学習で成長できた力や日々の学校生活で身につけた力で、二日目の行程を班員みんなで考え、実行することができました。

このような成長した部分に対して、二年生にはまだいくつも課題があります。それは、授業中の態度です。一年生の頃から授業中の私語や離席、居眠りなど先生たちから注意されているにも関わらず、自分勝手な振る舞いをしている生徒もいます。授業を受けたい人が十分に受けられないという教科がいくつもあります。教科の先生によって、授業態度を変えずに取り組めるようになることが課題です。二年生の三学期は、「三年生のゼロ学期」とも呼ばれる、三年生になる準備をする大事な時期です。このような授業の状況が三学期も続くと、三年生の一学期から良いスタートダッシュを切ることができなくなります。また、三年生は宇美東中学校の代表学年でもあり、受験生と呼ばれる学年にもなります。今の状況を一人一人が危機感をもって、少しずつでも改善していき、学習意欲を高めている多くの生徒が、十分に授業を受けられるようにしていきましょう。繰り返しになりますが、私たち二年生にとっての三学期は、次の代表学年への準備期間です。また、受験生になる準備をしていく大事な時期です。これまでの学校生での意識を、少しずつ変えていき、充実した三学期になるように冬休みを利用して、自分自身としっかりと向き合い、三学期も成長した姿を見せられるように準備していきましょう。